

名古屋工業会大阪支部・名晶会大阪支部共同主催の「見学会」開催報告

《斑鳩の里「藤ノ木古墳」と「法隆寺」を訪ねて》

平成 25 年 6 月 15 日（土曜日）、退職後当地斑鳩の里にて観光ボランティアガイドでご活躍の横山誠さん(K47)のご協力を得て、いま話題の「藤ノ木古墳」と日本で最初の世界遺産「法隆寺」の見学会が、木越支部長と岡崎副支部長を含む総勢 30 名（K 科 13 名、A 科 5 名、W 科 6 名＋奥様とご友人、C 科 1 名、D 科 1 名、E 科 1 名、M 科 1 名）参加のもと、盛大に行われました。

午前 10 時 30 分、JR 法隆寺駅に集合し、11 時より法隆寺 i センターにて、横山さんの講演「**聖徳太子の思いと藤ノ木古墳、法隆寺との関係に関して**」（藤ノ木古墳の概要や、法隆寺のみどころ紹介）、および蔭山 精一氏（郷土歴史家）の講演「**私論 法隆寺の謎**」（7つの謎と法隆寺が残った謎）を聴講し、同センターで昼食をとりました。

続いて、13 時から「**斑鳩文化財センター**」にて、藤ノ木古墳に関するビデオや資料、及び出土した副葬品について説明を受けながら見学し、そこから 10 分ほど歩いて、6 世紀第 4 四半期の円墳であると推定される「**藤ノ木古墳**」を見学しました。（ドアのガラス越しに石室内を見学）また、後方の高台から遠くに大和三山を見ながら、さらに、法隆寺を支えてきた宮大工の集団が住んだ「**西里地区**」を通り、607 年に聖徳太子が建立された「**法隆寺**」（日本の仏教建築・仏像・工芸品の原点で、国宝 115 点、重要文化財 2000 点近くあり、世界遺産にも登録されている）へ、14 時に到着しました。

ここから、10 名毎に 3 班に別れて各々にボランティアガイドさんについていただき、約 2 時間半の見学会が始まりました。「**西院**」（中門、金堂、五重塔、大講堂）に続き、「**大宝蔵院**」で多数の国宝仏像を見学し、さらに「**春季特別秘宝展**」も見学しました。続いて 10 分ほど歩いた「**中宮寺**」では、国宝の木造菩薩半跏像を始めとする仏像を拝観し、最後に「**東院（夢殿）**」を拝観しました。

当日は、法隆寺の見学開始から雨模様となりましたが、非常に親切丁寧でわかりやすいボランティアガイドさんの説明と、事前に受けた「横山さん・蔭山さん」の講演により、法隆寺の理解度も一層深まりました。余談ですが、土曜日にもかかわらず、沢山の修学旅行生が来ていました。

法隆寺を後にした一行は、大雨の中徒歩にて懇親会場「**サガミ**」へ向かい、17 時から約 2 時間の懇親会にて親睦を深めました。また、今回は、平成卒業生も 2 名参加していただき、最年少は平成 23 年卒業、最年長は昭和 35 年卒業ということで、幅広く友好を深められたと思います。木越支部長のご挨拶も頂き、懇親会終了時には雨もあがり、無事に名古屋工業会大阪支部と名晶会大阪支部共同開催の「藤ノ木古墳と法隆寺」見学会を終了することができました。

参加していただいた方の御協力に感謝するとともに、今後とも名古屋工業会への御協力の程、よろしくお願い申し上げます。

(K59 上田 智・記)

《藤ノ木古墳にて》



《法隆寺 中門前にて》



《親睦会「サガミ」にて》

